

## セミナー通信

V o l . 1 7 8

西村セミナールーム

主宰 西村 恵子

## 当塾のこだわり

新年度が始まりました。当塾も新しいメンバーを迎え、気持ちも新たにスタートです。

例年のことですが、新中1、在塾生全員と面談をし、1年間頑張るという意志を確認できた人とのみ今年度の通塾契約をかわしました。当塾の通塾条件は、「1週間前に答えを渡されているパートテスト（英単語テスト）に毎回合格すること」という大変シンプルなものです。ですが、私はこれに徹底的にこだわっています。努力次第のこれこそが頑張る意志の表れだからです。

今年、面談の席で私にパートテスト等がしっかりやれていないことを指摘され退塾を考えるよう言われた塾生がいました。彼は「今年は絶対に頑張るから続けさせてほしい。」と言ったのですが、その直後パートテスト追試をやり忘れ、しかも新たなパートテストも不合格。私は面談をやり直し、3枚のパートテスト追試を翌日一回で満点合格させなければ次年度の契約はしないと宣言しました。口先だけでなく、頑張る意志を行動で見せてほしかったのです。翌日、彼は3枚を一回で満点合格させて、なんとか続けられることとなりました。

また、本当に退塾となってしまった塾生も今年も数名いました。年度当初は緊張感もあり、頑張ってパートテストを覚えていても、1年が過ぎる頃には慣れも出て覚え方も甘くなります。再三注意はしてきましたが、不合格が続くようになったため本人に頑張る意志がなくなったと判断し、残念ながら2月で退塾となりました。いくら本人が「続けたい。」と言っても、行動がともなっていなければ認めることはできません。

もしお子さんが、「成績が悪いから辞めさせられるかもしれない。」などとおっしゃることがあれば、それは自分の怠慢をごまかし、責任を転嫁しているとお考えください。辞めさせられる理由は他にあるのです。私は塾生の前でただの一度も成績を理由に退塾をほのめかしたことなくありません。やるべきことをやっているか否か、ただそれだけです。パートテストに合格し、宿題をきちんとこなし、向上心を持っていれば、成績が芳しくなろうが、続けていただくことに何の問題もありません。是非一緒に頑張りたいと思います。

“やる気のない塾生は教えない”これが当塾のこだわりです。親御さんにどんなに頼まれても、たとえその結果塾生が一人もいなくなるとしても、本人にやる気がないのではおあずかりできません。「子どものやる気を出させてください。」と言われるかもしれませんが、申し訳ありませんがやる気の出させ方など私にはわかりません。やる気は持って来てください。そうすれば私は全力で応えます。さあ、塾生諸君、今年もともに熱く頑張ろうではありませんか。